



シラバス

令和7年度



鴻巣市立赤見台第一小学校

〒365-0064

鴻巣市赤見台4丁目19番1号

シラバスの配付について

令和7年度のシラバスをお届けいたします。このシラバスは、学校で行われる授業について「何のために、どう学ぶのか」という「学び方の手引き」を示したものです。各教科領域での「重点目標」や「児童にがんばってほしいこと」などを載せましたが、特に、子どもの学習について、保護者の方々が家庭において、どう援助したらよいかの目安も示しました。

シラバスは、児童が学習する際の動機づけ、また計画的な学習の習慣化につながるものと考えます。そして、児童が意欲的に授業に取り組み、一層の学習効果の向上を目指します。

保護者の皆様には、学校での授業がどのように進められているかを理解していただき、児童の家庭での学習が習慣化されることを願っております。

シラバスの配付について、目次

目次

1 本校の教育課程	
(1) 各教科・道徳・特別活動等の授業時間数	1
(2) 週日課表	2
(3) 週時間割	3
2 各教科等シラバス	
・国語科	4
・社会科	5
・算数科	6
・理科	7
・生活科	8
・音楽科	9
・図画工作科	10
・家庭科	11
・体育科	12
・外国語活動・外国語科	13
・道徳	15
・特別活動	16
・総合的な学習の時間	17

各教科・道徳・特別活動等の授業時数

	1年	2年	3年	4年	5年	6年
国語	306	315	245	245	175	175
社会			70	90	100	105
算数	136	175	175	175	175	175
理科			90	105	105	105
生活	102	105				
音楽	68	70	60	60	50	50
図工	68	70	60	60	50	50
家庭					60	55
体育	102	105	105	105	90	90
道徳	34	35	35	35	35	35
外国語・外国語活動			35	35	70	70
総合的な学習の時間			70	70	70	70
特別活動	34	35	35	35	35	35
総時数	850	910	980	1015	1015	1015

令和7年度 週日課表

	時間	月	火	水	木	金
業 前	8:15	読書タイム	①全校朝会 ②みんなの広場 ③児童集会 ④音楽朝会	学力向上タイム	学級の時間 フック物洗口	さわやかタイム
	8:30	朝の会				
	8:40	1	7	12	18	24
1	9:25					
2	9:35	2	8	13	19	25
	10:20					
	10:20					
業 間	10:45					
	10:45	3	9	14	20	26
	11:30					
3						
4	11:40	4	10	15	21	27
	12:25					
	12:25					
給 食	13:05					
		歯みがきタイム				
	13:10					
休 み	13:25			ふれあいタイム		
	13:25	13:10 13:25			13:10 13:25	
	13:40					
5	13:45	13:30 5	11	16	13:30 22	28
	14:30	14:15			14:15	
		帰りの会	帰りの会	帰りの会	帰りの会	帰りの会
6	14:40	14:25 6	14:45~15:30 ①委員会 ②~④クラブ	17	14:25~ 23	29
	15:25	15:10			15:10	

令和7年度

週時間割

曜日	時間	1年	2年	3年	4年	5年	6年
月	1	○	○	○	○	○	○
	2	○	○	○	○	○	○
	3	○	○	○	○	○	○
	4	○	○	○	○	○	○
	5	○	○	○	○	○	○
	6			○	○	○	○
火	1	○	○	○	○	○	○
	2	○	○	○	○	○	○
	3	○	○	○	○	○	○
	4	○	○	○	○	○	○
	5	○	○	○	○	○	○
	6				クラブ	クラブ	クラブ
水	1	○	○	○	○	○	○
	2	○	○	○	○	○	○
	3	○	○	○	○	○	○
	4	○	○	○	○	○	○
	5	○	○	○	○	○	○
	6				○	○	○
木	1	○	○	○	○	○	○
	2	○	○	○	○	○	○
	3	○	○	○	○	○	○
	4	○	○	○	○	○	○
	5	○	○	○	○	○	○
	6		○	○	○	○	○
金	1	○	○	○	○	○	○
	2	○	○	○	○	○	○
	3	○	○	○	○	○	○
	4	○	○	○	○	○	○
	5	○	○	○	○	○	○
	6			○	○	○	○
教科・領域		25	26	28	29	29	29
児童委員会						第1火曜日	第1火曜日



国語科シラバス

国語科は、こんな教科です

国語科は全ての学習の基本です。学習時間も一番多くなっています。国語による表現力と理解力を育成し、それを基に言語で伝え合う力を高めていきます。思考力、想像力、言語に対する感性を養っていきます。国語に対する関心を深め、国語を大切にし、発展させようとする態度を育てます。

重点目標

- 日常的に必要な、話す・聞く・書く・読むなどの基本的な内容を繰り返し学習し、確実な言語能力を育成していきます。
- ・言語活動の充実
- ・読書活動の日常化
- ・伝統文化の学習
- ・辞書の日常的な活用

学習の工夫

- 学習方法の工夫
教科書への書き込み、ワークシート、視写、音読、動作化、説明、話し合い、発表、交流、辞書引き、タブレットの活用
- 学習の形態の工夫
一斉学習、グループ学習、個々の学習など
- 評価の工夫
自己評価、友達のよさの評価、学習カード・ノート・ワークシートなどの活用、漢字小テストの活用

児童にがんばってほしいこと

- (低) 話の聞き方、発表の仕方、鉛筆の持ち方、姿勢など学習で大切なことを身に付けましょう。自分の思ったこと、考えたことを進んで発表しましょう。文字はていねいに書きましょう。ひらがな、カタカナ、漢字、音読を繰り返し練習しましょう。
- (中) たくさん本を読みましょう。自分の意見をしっかりもち、積極的に発表しましょう。国語辞典や漢字辞典を使う習慣をつけましょう。毛筆用具の扱い方や筆の使い方を覚えましょう。ローマ字を書くことや漢字・音読を繰り返し練習しましょう。
- (高) たくさん人の話を聞いたり本を読んだりする中で、自分の意見や考えをもち、視野を広げたり深めたりしましょう。課題について、図鑑や事典などを利用して情報を読み取り、まとめて書く力を伸ばしましょう。狂言、落語、短歌、俳句、古文、漢文などに触れましょう。

保護者の方へ

- ◎国語科で学習する、話す・聞く・書く・読むなどは、日常的に行っている活動です。
- ・親子の言語によるコミュニケーションを大切にしてください。
- ・お子さんの話に耳を傾け、心に響く話をしてあげてください。
- ・家庭学習での音読を励まし、意欲をもたせるようにしてください。
- ・家庭でも読み聞かせや親子読書の機会をもってください。



社会科シラバス

社会科とは

社会生活についての理解を図り、我が国の国土と歴史に関する理解と愛情を育て、国際社会に行き渡る民主的、平和的な国家・社会の形成者として必要な公民的資質の基礎を養うことを目標としている。

<重点目標>

- 地域社会の一員として国土に対する理解と愛情を深められるようにします。
- 観察・調査をしたり、資料を活用したり、調べたことを表現したりする力をつけます。
- 地域や国土の特色、我が国の世界と関わりについて考える力をつけます。

主な学習内容

- 3・4年生…自分たちの住んでいる地域の社会生活について
- 5年生…我が国の国土と産業の様子や特色について
- 6年生…歴史や政治の働き・国際社会における国の役割について

学習の工夫

～社会的事象の見方・考え方を働かせ、観察・調査・見学・体験などを通して、

学習の問題を楽しく調べ考え表現する学習をします～

- 3・4年生
 - ・実際に見たり体験したりして身近な地域社会に関心がもてるようにします。
 - ・調査や見学を通して、自分たちの生活を支えている仕事や働く人の苦勞や工夫が分かるようにします。
- 5年生
 - ・身近な資料を活用し、我が国の産業と国民生活が結びつくようにします。
 - ・我が国の国土、環境などを進んで調べ表現できるようにします。
- 6年生
 - ・歴史について進んで調べ、伝統を大切にし、世界の国々にも目を向けられるようにします。
 - ・政治の仕組みについて理解し、日常生活とのつながりを理解できるようにします。

児童のみなさんへ

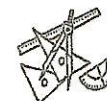
- 「なぜ？」と感じたことを進んで調べましょう。また調べたことをみんなに伝えましょう。
- 日頃から新聞やニュースなどをよく見るようにし、広く世界に目を向けましょう。

保護者の方へ

- 新聞やニュースを話題にし、地域や国、世界の様子に関心をもつようにしてください。
- 47都道府県や世界における日本の位置を小学生のうちに覚えられよう、身近なところに地図を貼ってください。



算数・数学シラバス



算数科は、日常生活に必要な知識や

計算力をつけ、数学的な見方・考え方を養います。

○重点目標○

- ①数量や図形についての基礎的・基本的な知識及び技能を身に付けます。
- ②日常の事象について見通しをもち、筋道を立てて考え、表現できる力を身に付けます。
- ③算数的活動の楽しさや数理的な処理のよさに気づき、進んで生活や学習に活用する力を身に付けます。

○主な学習内容○

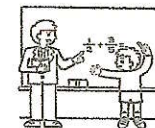
- 1年生…繰り上がりのたし算、ひき算、時刻
- 2年生…かけ算九九、三角形、四角形、長さ
- 3年生…かけ算の筆算、わり算、小数、分数、グラフ、重さ
- 4年生…小数のかけ算、角の大きさ、グラフ、平面図形、面積、概数
- 5年生…整数の性質、比、立体図形、多角形、割合
- 6年生…円の円周と面積、体積、比例、場合の数

☆学習の目標☆

- 1、2年生
 - ・ブロックや数え棒等、具体物を使って、数の基本的なことを学ぶ授業を行います。
 - ・個々の児童を大切に丁寧な指導を行います。
- 3、4年生
 - ・具体物を使った学習から図や表をノートに書いて考える授業を重視し、わかる・できる授業を行います。
 - ・TTだけでなく、少人数指導も取り入れ、個々の児童に応じた指導を行います。
- 5、6年生
 - ・自分の考えと友だちの考えを比べ、話し合う活動を重視した授業を行います。
 - ・基礎的・基本的な学力を確実に身に付けるため、習熟度別学習を中心とした少人数指導を行います。

☆児童のみなさんへ☆

- ・たし算、ひき算、かけ算、わり算の計算練習を繰り返し行いましょう。繰り返しの学習が力になります。
- ・文章問題は、問題文の意味を考え、どのように式を立てるかを考えましょう。
- ・算数で身に付けた知識や技能を日常生活の中に活かしていきましょう。



☆保護者のみなさまへ☆

- ・算数ノートは学年に応じたマス目の入ったノートを使い、次の時間に活用できるノート指導をしています。
- ・積み重ねの教科です。家庭での繰り返し学習が学力向上につながります。



理科シラバス



理科はこんな教科です

自然に親しみ、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察や実験などを行うことを通して、自然の事物や現象についての問題を科学的に解決する力や自然を愛する心情を育てます。

重点目標

- (1) 児童が身近な自然を対象として、自らの諸感覚を働かせ、体験を通じた自然とののかかわりの中で、自然に接する関心や意欲を高め、そこから主体的に問題を見いだす学習活動を重視する。
- (2) 児童が見通しをもって観察、実験やものづくりなどを行い、自然の事物・現象と科学的にかかわる中で、問題解決の能力や態度を育成する学習活動を重視する。
- (3) 児童が観察、実験などの結果を整理し、考察、表現する活動を行い、学んだことを生活の中で見直し、自然の事物・現象についての理解を図る学習活動を重視する。

2つの内容

1 A物質・エネルギー

実験の結果から得られた性質や働き、規則性などを活用したものづくりを充実させるとともに、「エネルギー」「粒子」といった科学の基本的な見方や概念を柱として、内容の系統性が図られている。

2 B生命・地球

自然を愛する心情を養うとともに、「生命」「地球」といった科学の基本的な見方や概念等を柱として、内容の系統性が図られている。

児童にがんばってほしいこと

- ・身の回りの自然や動植物に関心をもって、よく観察してみよう。
- ・実験器具の使い方をしっかり身につけ、進んで実験に参加しよう。
- ・わからないときは、あきらめずに何度も先生や友達に聞いてみよう。
- ・先生や友達の意見をよく聞き、自分の意見をしっかりと。
- ・学習したことを自分で工夫してまとめたり、相手にわかるように発表したりしよう。



保護者の方へ

- ・生活の中で身近な事象や自然に触れる機会をもって、自然に親しませるようにしてください。
- ・子どものもつ素朴な疑問に、親子で関心をもって課題を解決するようにしてください。
- ・日常の生活の中で子どもの意見や考え方を引き出し、論理的に説明できる力を育ててください。

生活科シラバス

生活科は、こんな教科です

具体的な活動や体験を通して自立への基礎を養います。

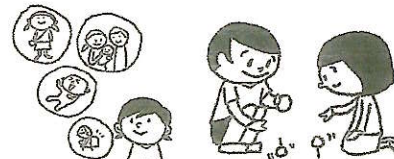
- 見る、聞く、触れる、作る、探す、育てる、遊ぶなど対象に直接働きかける学習活動を行います。
- 児童自らの思いや願いを実現していく過程を重視します。
- 児童の身近な生活圏が、学習の対象になります。学校によって、取り上げる対象が異なります。

重点目標

- 身近な環境に関心を持ち、主体的に活動できるようにする。
- 観察・探検・体験等の活動について自分なりに考え工夫し、活動の楽しさや気付いたことを表現できるようにする。
- 身近な人々、社会、自然、自分自身や自分の生活について、気付くことができるようにする。また、気付いたことを交流することで、気付きの質を高める。

学習の工夫

- ・児童が意欲的に活動や体験に取り組む授業の工夫をします。
- ・児童一人一人がよさを発揮し、思いや願いを実現できる授業の工夫をします。
- ・活動や体験の中から生まれる気づきを大切にする授業の工夫をします。

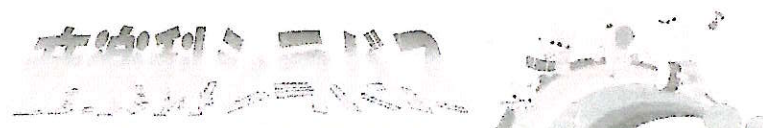


評価のポイント

- ◎ペーパーテストによる評価はありません。
- ・身近な環境に関心を持ち、友達と仲よく協力しながら、進んで活動しているか。
- ・活動や体験について工夫しているか。また、楽しかったことや気付いたことを言葉、絵、動作などで表現しているか。
- ・活動や体験で発見したり、気付いたりしているか。

保護者の方へ

- ・日頃から、人・社会・自然に進んで関われるような体験、遊びをたくさんさせてください。
- ・家族の一員としてお子さんができる仕事を続けさせてください。
- ・家族の会話を多くもつようにしてください。
- ・生活科での活動や体験を家庭でも活かしてください。



音楽科

みんなで楽しく歌ったり、楽器を演奏したり、音楽をつくったり聴いたりして、音楽の楽しさを知り、豊かな情操を養う教科です。

重点目標

歌う、楽器を演奏する、聴く、つくるなどの活動を通して、音楽の楽しさや美しさ、そして表現する喜びを味わえるようにします。また、歌い方や楽器の演奏の仕方などの基礎的な表現力を身につけます。

《低学年》『リズム』に重点をおき、音楽表現の楽しさに気づくようにする。
《中学年》『旋律』に重点をおき、音楽表現の楽しさを感じ取るようにする。
《高学年》『音の重なりや和声の響き』に重点をおき、音楽表現の喜びを味わう。

学習活動



児童一人一人に応じた学習活動を積極的に取り入れ、児童が主体的に学習に取り組めるようにします。

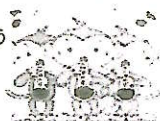
《低学年》自由に体を動かしたり、リズム遊びやふし遊びをしたりなど、遊びを通して楽しく音楽活動に取り組めるようにします。
《中学年》歌や楽器の基本的な演奏技能を高めていくことで、さらに楽しく心豊かに音楽活動に取り組めるようにします。
《高学年》グループ活動など、集団での学習を取り入れ、曲想を工夫したり、個性を発揮したりして、創造的に音楽活動に取り組めるようにします。

音楽活動をさらに楽しむために・・・

♪自分の楽器、みんなで使う楽器を大切に扱いましょう。
♪家で鍵盤ハーモニカやリコーダーの練習に取り組みしましょう。
♪友だちのよさを認め、協力し合いながら、自分らしい表現を工夫してみましょう。
♪いろいろな場で、いろいろな種類の音楽を聴いてみましょう。

保護者の皆様へ・・・

♪表現の楽しさを味わうために、ご家庭でも楽器の練習に取り組むよう励ましてください。
♪さまざまなジャンルの音楽に親しませる機会をぜひ設けてください。



図画工作科シラバス

図画工作科は、かいたり、つくったりすることの楽しさを味わう教科です。

重点目標

- ・子どもたちが、造形活動の楽しさを味わえるような活動を計画します。
- ・活動を通して、色や形を組み合わせる美しさやイメージをふくらませる造形感覚を養います。
- ・お互いの表現のよさや違いを大切にでき、その子らしさが発揮できる教科です。

学習の工夫

- ・造形活動の楽しさが味わえるように、様々な材料・手法に出会える題材を展開します。
- ・一人一人の良さを引き出す表現活動になるように、いろいろ試したり、見つけたりしながら、かいたり、つくったり、遊んだりします。
- ・一人一人の表したい思いや願いを共感、共有できるような場づくりをします。

評価のポイント

- ※できあがった作品だけでなく、造形活動全体を視野に入れて評価します。
- ・自分の思いや願いをもって、造形活動を楽しんでいるか。
- ・主題の表し方に自分らしさが盛り込まれているか。
- ・創造的な技能や造形感覚を生かしているか。
- ・造形作品にふれ、そのよさや美しさを感じているか。

児童にがんばってほしいこと

- ・生活の中で図工の授業に使えそうな物を集めておき、忘れ物をしないようにしましょう。
- ・話をしっかり聞き、道具や用具は正しくていねいに使いましょう。
- ・表現への思いを大切にしながら、作品を最後まで完成させましょう。
- ・後かたづけや清掃が終わるまで図工の時間です。始める前よりきれいにしましょう。

保護者の方へ

- ・生活の中で、図工の作品の材料になるものを集めておいてください。
- ・児童が作品を持ち帰ったら、よいところを誉め大切に扱ってください。



家庭科 シラバス

家庭科は
こんな教科です

◆家庭科の目標◆

衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、家庭生活への関心を高めるとともに日常生活に必要な基礎的な知識と技能を身に付け、家族の一員として生活を工夫しようとする実践的な態度を育てることをねらいとしています。

◆具体的な内容◆

次の3つの内容を5・6年生で計画的に学習します。

A 家族・家庭生活

例えば…自分の生活時間を見直し、家族と協力して生活するための計画を立て実行します。

B 衣食住の生活

例えば…食事の役割や大切さを学び、栄養バランスについて学習します。

「茹でる」「炒める」などの調理の基礎を学び、調理実習をします。

例えば…衣服の役割を学習し、ボタン付けや簡単な縫い物をします。

C 消費生活・環境

例えば…物や金銭の使い方と買い物のしくみなどについて学び、

住みよい暮らしをするための工夫を学習します。

◆評価のポイント◆

次の3つの観点ごとに評価します。

① 知識・技能

家族や家庭、衣食住、消費や環境などについて、日常生活に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けているかなど。

② 思考力・判断力・表現力

日常生活の中から問題を見いだして課題を設定し、様々な解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなど、課題を解決する力を身に付けているかなど。

③ 主体的に学習に取り組む態度

家族の一員として、生活をよりよくしようと、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしているかなど。

◆おうちの方へお願い◆

☆ 学習したことが実際に生活でも生かされるように、家庭でもご協力をお願いします。

体育科 シラバス

学校教育目標
「(か) 体も心もたくましい子」
の育成を図ります。

☆体育科ってどんな教科

○適切な運動の経験
運動の楽しさや喜びを味わう。
・めあての達成 ・技能の習得
・友達との協力 ・教え合い、励まし合い

○健康・安全についての理解
健康な生活、体の発育・発達、心の健康、けがの防止及び病気の予防についての基礎的な内容を実践的に理解する。



運動に親しむ資質や能力の基礎を育てる

相互に密接な関係を持つ

体力の向上を図る

健康の保持増進を図る



「明るい生活をおくる態度を育てる」

☆本校の体育で目指す児童像

豊かな心を持ち、たくましく生きる児童像
～すべての児童が楽しく、安心して運動に取り組むことができる体育授業の在り方を中心として～

・進んで運動する児童
・自分の健康に関心をもつ児童
・仲間と学び合える児童

☆体育科の領域構成

1, 2年	3, 4年	5, 6年
体づくりの運動遊び	体づくり運動	
器械・器具を使つての運動遊び	器械運動	
走・跳の運動遊び	走・跳の運動	陸上運動
水遊び	水泳運動	
ゲーム		ボール運動
表現リズム遊び	表現運動	
	保健	

☆各学年で高めたい体力及び重点教材

	高めたい体力(発達的特性から)	重点教材
1・2年	○調整力 ○柔軟性 ・自分の体を自由に動かす ・ボール、縄など用具を操作する力	○遊びの中で多様な動きづくり ・体づくりの運動(多様な動きをつくる運動遊び) ・器械・器具を使つての運動遊び(鉄棒遊び、固定施設遊び) ・走・跳の運動遊び ・ゲーム(ボール投げゲーム)
3・4年	○調整力 ○柔軟性 ・心理的発達も考慮して勝敗を競うゲーム ・十分に動くことのできる運動量を確保する	○遊びの中で動きをより高める ・体づくりの運動(多様な動きをつくる運動) ・走・跳の運動 ・器械運動(鉄棒運動、マット運動、跳び箱運動) ・ゲーム(ゴール型ゲーム)
5・6年	○調整力 ○柔軟性 ○瞬発力 ○持久力 ・知的発達の促進、仲間づくりの重視等からボール運動 ・児童の運動欲求を満足させる運動量を確保する	○児童一人一人がめあてをもって学習を進める。 ・器械運動(跳び箱運動) ・陸上運動 ・ボール運動(ゴール型ゲーム)

「保護者の方へ」

友達と外遊びをする、家族とスポーツやレクリエーションをするなどの経験を通して、健康で運動好きな子へと成長していきます。また、家庭や地域社会での様々な生活体験、社会体験、自然体験を通して、保健の学習で学んだ知識を確かなものとしていきます。ご家庭でのご協力をよろしくお願いいたします。

外国語活動・外国語科の時間はこのような学習をします

3～6年生の授業は学級担任とALTが担当します。3・4年生の外国語活動は「聞く」「話す」を中心に音声に重点をおいた学習をとおして外国語に慣れ親しみ、コミュニケーション能力の素地を養います。5・6年生は「聞く」「話す」「読む」「書く」の4技能の基礎を培います。そして「慣れ親しみ」を発展させ、学習の「定着」を目指します。また、1・2年生は、年間10時間程度の授業を行います。外国語に対する感性を育むことを主な目的としています。

重点目標

学びのある外国語学習をとおしてコミュニケーション能力の基礎となる力を育てます。

- 言語や文化について理解を深めます。
- 積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度と技能の育成を図ります。
- 聞く・話す・読む・書く学習をとおして、「慣れ親しみ」から「定着」を目指します。

学習の手立て

- 3～4年生は、活動として年間35時間（週1時間）、5～6年生は、教科として年間70時間（週2時間）、1・2年生は外国語理解教育の一環で10時間程度を行います。
- 学級担任とALTとで、外国語を使ったコミュニケーション活動を行います。聞く・話す・読む・書くの学習を行います。
- 教材「Let's Try!」（3・4年生）、教科書（「Junior Sunshine」）（5・6年生）を主に使います。
- 授業に集中するとともに、家庭での短時間の自主的な学習を期待しています。
- 生活の場面を体験的に学習する基礎として、様々な生活経験を想起させます。
- ICT（デジタル教科書やタブレット等）を積極的に活用し、映像や音声を観聴したり、児童の発音やコミュニケーションの様子を記録したりします。

評価のポイント

- 外国語の授業は教師とALTとで児童の関心・意欲を引き出し、聞く・話す・読む・書く学習をとおして技能・能力を高めるよう児童の指導と評価に心がけます。
- 学級担任とALTとで、広い視野に立って評価します。
- 学習状況を把握するために、授業での児童の観察・振り返りシート・テスト等を行います。

こんなことをがんばろう

●外国の文化や生活についての興味・関心を深めましょう。

1・2年生	・音やリズムを感じ取り、まねて、たくさん口に出し、言ってみましょう。 ・友達と仲良く歌や様々な活動を楽しみましょう。 ・活動と話を聞くときの態度をしっかり身に付けましょう。
3・4年生	・外国語の音やリズムを感じ取り、積極的に外国語で話してみよう。 ・誰とでも仲良く一緒に活動し、コミュニケーションを図りましょう。 ・間違えることや失敗することを気にしないで、チャレンジ精神で学習しましょう。
5・6年生	・学級担任やALTが話す外国語の分かる部分を増やすようにして聞きましょう。 ・進んで相手の様子をたずねたり、自分のことを話したりしてみましょう。 ・特に5・6年生は恥ずかしさが出やすい学年です。しかし恥ずかしがっていたら、できるようにはなりません。間違いや失敗を気にしないでチャレンジしましょう。

外国語活動・外国語科年間授業内容

Lesson	1・2年生の主な学習活動	3年生の主な学習活動	4年生の主な学習活動	5年生の主な学習活動	6年生の主な学習活動
1	・「こんにちは」と自分の名前を言えるようにしよう	Hello! あいさつをして友達になろう	Hello, world! 世界のいろいろなことばであいさつをしよう	Hello, everyone. 友だちのことをもっと知ろう。	This is me. 自分について発表しよう。
2	・色について発音したり好きな色をぬったりしよう	How are you? ごきげんいかが？	Let's play cards. 好きな遊びを伝えよう	When is your special day? クラスのスペシャル・カレンダーを作ろう。	Welcome to Japan. 日本のよいところをしようかいしよう。
3	・「名前は？」とたずねたり、自分の名前を言ったりしよう	How many? 数えてあそぼう	I like Mondays. 好きな曜日は何かな？	What do you have on Mondays? 将来の夢をかなえるための時間割を作ろう。	What time do you get up? 「理想の日曜日のスケジュール」を伝え合おう。
4	・「元気？」とたずねたり、答えたりしよう	I like blue. 好きなものを伝えよう	I like blue. 好きなものを伝えよう	I can draw pictures well. もっと自分を知ってもらおう。	My Summer Vacation 夏休みの思い出を発表しよう。
5	・果物や野菜の名前を発音してみよう	What do you like? 何が好き？	Do you have a pen? おすすめの文房具セットをつくろう	Where is the station? マイタウンを作って案内しよう。	Where do you want to go? 行きたい国のみりょくを伝え合おう。
6	・食べ物・飲み物を発音してみよう	ALPHABET アルファベットとなかよし	ALPHABET アルファベットとなかよし	What would you like? ランチメニューを考えて注文しよう。	My Best Memory 小学校生活の思い出アルバムを作ろう。
7	・1から10までの数の言い方を知り、数のカルタ取りをしよう	This is for you. カードをおくろう	What do you want? ほしいものは何かな	I love my town. 「町のすてきなところ」をしようかいしよう。	My Dream 将来の夢を発表しよう。
8		What's this? これなあに？	This is my favorite place. お気に入りの場所をしようかいしよう	My Hero クラスみんなの「ヒーロー図かん」を作ろう。	My Junior High School Life 中学校生活でいたいことやがんばりたいことを伝えよう。
9		Who are you? "In the Autumn Forest" きみはだれ？	This is my day. "Good Morning" ぼく・わたしの一日		



道徳シラバス

道徳では、こんな学習をします

道徳は、人間としてよりよく生きるための基礎的な「道徳性」を身に付ける時間です。道徳教育は、学校の全教育活動の中で行われます。道徳の時間はその「要」としての役割を果たします。

道徳で学習すること

- A 主として自分自身に関すること
- B 主として人との関わりに関すること
- C 主として集団や社会との関わり合いに関すること
- D 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること

重点目標

- ねらいとする道徳的価値について自覚し、自己の生き方についての考えを深める力を育成します。
- 楽しい道徳の時間になるように工夫します。
 - (低) 基本的な生活習慣や善悪の判断、社会生活上のルールを身に付けられるようにします。友達と仲良くする気持ちや生命を大切にすることの大切さを育てます。
 - (中) 社会や集団のきまりを守ることを学び、自主性や、協力し助け合う態度を育てます。友達と助け合う気持ちや生命の尊さを知る気持ちを育てます。
 - (高) 法やきまりの意義を理解し、友達と支え合う態度を身に付けられるようにします。お互いの立場を考える気持ちや生命を尊重する気持ちを育てます。



学習の工夫

- 話し合う・考え合う時間の充実
 - 役割演技、動作化、書く活動などを取り入れる。
 - ペアや小集団での話し合いを取り入れる。
 - 友達との多様な見方や感じ方に気付かせる。
- 楽しい道徳の授業
 - 場面絵やワークシートを活用する。
 - 様々な話し合い方法で自分の考えを伝えやすくする。
 - ゲストティーチャーを積極的に取り入れる。

児童にがんばってほしいこと

- 一人一人が自分の考えをもちましよう。
- 自分の考えを進んで伝えましよう。
- 友達のことを聞きましよう。いろいろな考えがあることに気付くましよう。
- 道徳の時間に考えたこと、学んだことを生活の中で生かしましよう。

保護者の方へ

- 家庭や社会は、道徳の時間に学んだことを実践する場です。学んだことが身に付くよう親子で実践してください。
- 授業参観で道徳授業を公開します。道徳についてご家庭で考えるきっかけにしてください。

特別活動シラバス

《特別活動はこのような学習です》

- ・子どもたちが、自分たちの力で、生き生きと楽しく学校生活を送るための主体的で自治的な活動です。
- ・集団活動を通して、豊かな人間性や社会性、好ましい人間関係、モラルやルールを身につけます。

重点目標

- 望ましい集団活動を通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図り、集団の一員としてよりよい生活や人間関係を築こうとする自主的・実践的な態度を育てるとともに、自己の生き方についての考えを深め、自己を生かす能力を養います。
- (低) 学級のだれとでもながよくして、みんなで楽しく活動しようとする態度を育てます。
- (中) 友達と協力し、自分らしさを発揮しながら、学級や学校生活を豊かにしようとする態度を育てます。
- (高) 高学年としてよりよい学校生活を築くため、自主的に活動しようとする態度を育てます。

《特別活動には次のような活動があります》

次のような活動内容があります。

- (1) 学級や学校の生活づくり・・・児童が中心となって活動します。
 - 話し合い活動（当番活動や係活動の分担を決めたり、学級の問題を解決したり、楽しい学級集会の計画を立てたりします。）
 - 係活動（学級生活が充実するように、アイデアを出し合って自主的に活動します。）
 - 学級集会（お楽しみ会、スポーツ大会、カルタ大会など自分たちで計画運営をします。）
- (2) 日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全
- (3) 一人一人のキャリア形成と自己実現・・・教師が指導します。
 - 自分や学級のめあて、基本的生活習慣、望ましい人間関係、学校図書館の利用、健康安全、学校給食と望ましい食習慣、清掃などの当番活動と働くことの意義 等。

学級活動

学校行事

入学式、始業式、運動会、林間学校、修学旅行、オースティンフェスティバル、卒業式など

クラブ活動

4,5,6年生の児童が活動します。自分の興味関心で選ぶことができます。
本校では、次のようなクラブがあります。
外球技、むかしあそび、科学大好き、絵画工作、ネットスポーツ、リズムダンス、音楽、バスケットボール

児童会活動

委員会活動（5,6年生が活動します。）
本校では、次のような委員会があります。
運営、JRC（青少年赤十字）、掲示、図書、飼育・環境、給食、運動、保健、放送

縦割り活動
1年生から6年生までを一緒にした24の小グループを作って活動します。
児童集会
1年生を迎える会、バスケ選手を励ます会、ありがとう集会、クラブ発表会、6年生を送る会 等

総合的な学習の時間シラバス

自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育成し、自己の生き方を考えることができるようにすることを目標としています。

赤見台第一小の特色に応じた課題

- 自らが生活している学校や地域に関心を持ち、地域や学校の特徴などについて進んで調べようとする子を育成します。
- 地域や学校のよさに気づき、地域や学校の一員としての意識をもって生活しようとする子を育成します。
- 国際理解や情報（デジタルシティズンシップ・プログラミング教育を含む）、環境、福祉教育などの今日的課題や各教科等の学習内容をまたがったり発展させたりするような課題、児童の興味・関心にもとづいた課題などについて学習を進めます。

くすのき学習 年間指導計画（○学習の視点）

	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	発見！こうのす										
3年	地域の方々から学ぼう【地域や学校の特徴】 ○人とのふれあいを通して、その人の持つ知恵やよさを共に学ぶことができる。					地域の方々から学ぼう【地域や学校の特徴】 ○地域に主体的に関わる活動を通して、地域のよさを発見することができる。					
4年	赤見台安全マップを作ろう【環境】 ○地域に主体的に関わる活動を通して、地域のよさや価値を見出すことができる。					バリアフリーを目指して【福祉】 ○点字・手話などに興味・関心をもって取り組むことができる。			2分の1成人式をしよう ○人とのふれあいを通して、自分自身の成長を喜びとともに、これからの生き方について考える。		
5年	赤一小エコマップ作成【環境】 ○自分たちの町のよさを見付けたり、地域の人の話を聞いたりして、自分たちの町をよりよくするための活動を通して、町の環境を守ることに関わっている人々の思いに気づき、学んだことを自らの生活や行動に生かすことができる。					世界の文化を紹介しよう【国際理解】 ○ICTを活用し、培った学び方、知識、技や経験をもとに、自分との関わりで、活動を展開し、自らの学びを高めることができる。					
6年	日本文化にふれよう【国際理解】 ○ICTを活用し、培った学び方、知識、技や経験をもとに、自分との関わりで、活動を展開し、自らの学びを高めることができる。					未来を見つめよう【学校・興味・関心】 ○人との関わりを通して、その人の考え方や生き方に共感し、自らの生き方を考え、ともに生きていこうとする態度を育てる。					
3～6年 デジタルシティズンシップ教育(6時間)											

◆評価の仕方◆

数値的な評価はせず、活動や学習の過程、報告書や作品、発表や討論などにみられる学習の状況や成果などについて、児童のよい点や学習に対する意欲や態度、進歩の状況などを踏まえて評価します。

☆保護者の方へ☆

課題解決に向けて、子どもたちはご家庭でも調べ学習をすることがあります。その際には、ぜひご協力お願いいたします。